

あまみ

市議会だより

No.67
2022.12



▲ 9月12日 議員研修会（講師 新川支庁長）



▲ 9月20日 食肉加工センター新築工事起工式



▲ 10月9日 関西名瀬連合会総会並びに敬老会
（西議長出席）



▲ 10月16日 笠利地区第117回招魂祭式典

奄美・沖縄 世界自然遺産



©amami-ancc

第3回定例会

令和4年9月5日～9月26日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町2番8号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815

第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2～6

常任委員会の審査概要 / 定例会の議案・・・・・・・・・・・・ P 7～9

ひかり議会 / 議員研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10

所管事務調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

市政を問う

9月6日、7日、8日、9日の4日間で14名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※奄美市のホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。
※下記のQRコードをスマートフォン等で読み取ってご覧いただくこともできます。

奄美市 議会録画配信



動画配信は
こちら→

1日目	2日目	3日目	4日目
1 大迫 勝史	1 和田 霜析	1 奥 晃郎	1 与 勝広
2 幸多 拓磨	2 正野 卓矢	2 竹山 耕平	2 関 誠之
3 永田 清裕	3 伊東 隆吉	3 多田 義一	
4 崎田 信正	4 栄 ヤスエ	4 奥 輝人	

防災関連・市民の健康。
子育て支援について



大迫 勝史
(公明党・産業建設委員会)

問 本市職員の1月から8月までの新型コロナウイルス感染状況を示せ

答 全体で2209名、職員3分の1にあたるが必ず不可欠な市民サービスを継続するために各課において感染拡大の抑止に努めながら業務の継続計画を策定している。

問 本市の災害用備蓄品の中に簡易トイレや携帯トイレほどの程度あるか

答 国の「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」に基づき年度ごとに備蓄、更新を行っている。令和2年度においては、各避難所に防災簡易トイレ100個と環境衛生面の配慮として「尿凝固剤」を全体で1万個を準備してある。今後、具体的な備蓄計画策定に向け関係各課と協議していく。

問 带状疱疹ワクチン助成についての検討結果を示せ

答 現在、国の専門家委員会において定期接種化が検討中であるため、今後の国の動向を注視してまいりたい。

問 3歳児検診時に簡便な「屈折・眼位スクリーニング検査機器」導入についての現状を伺う。

答 本市では3支所で検診を行っており、機器購入後の運用などの課題もあるが疾病の早期発見に有用であることを踏まえながら検討していく。



雑草問題について



幸多 拓磨
(チャレンジ奄美・文教厚生委員会)

問 ハブによる咬傷被害への不安解消について

答 ハブによる咬傷被害を防ぐためにも、伐採を徹底する、もしくは雑草が生育しない環境を作っていくことが重要であると認識しており、防草シートや除草資材の積極的な活用、自走式芝刈り機等機材の導入を検討し、維持管理に努めてまいりたい。

問 景観を守るための除草、快適な施設利用のための除草について

答 現在、本市道路及び河川、都市公園については(一般社団法人)奄美市開発公社と指定管理及び業務委託契約を締結しており、住用地区・笠利地区は会計年度職員を雇用し、伐採等の維持管理を実施している。その中で年間計画を策定し伐採作業を行っているが、高温多湿

で降水量の多い奄美において、雑草の生育が非常に早く、行き届かない箇所がある現状も把握している。除草計画の可視化については、緊急対応などにより、対象個所の時期変更など、計画通りに遂行できない事もあることから、市民の皆様の誤解や不安を招く事態となりにかねない為、公表については慎重に検討しなければならぬ現状である。



▲ おがみ山公園

副市長の思い。福祉行政。観光振興について



永田 清裕
(自民党新政会・産業建設委員会)

はない。

問 観光とスポーツ振興

答 スポーツ合宿での来島者は昨年度より徐々にコロナ禍以前に戻りつつある。誘客拡大事業では国内主要大会に出向き、新規チーム獲得の活動等を行っている。また、受け入れ態勢づくりも官民連携して情報共有を図りながら、合宿チームのニーズに合わせるように進めている。

【その他の質問事項】

◎環境文化協力金導入の方法について

◎シフトワークの資源回復について

問 副市長の奄美での決意

答 市長の職務代理者としての役割はもとより、奄美市役所の組織マネジメントや政策立案能力向上の取組も期待されていると感じている。また、県職員としての経験からこれまでの市政運営とは違う視野・視点にも期待されていると思う。今後は地域・集落を実際に歩き、地域に溶け込むことにも努めていく。

問 小浜保育所整備計画

答 建設部局、総務部局との横断的な課題としては共有を図っている。台風災害に不安がある、職員用のトイレが少ない、給食室が古いため不安があるなどの多くの課題を確認し、大変重要な課題であると認識しているが、現在、正式な検討会は始めていない。よって具体的な計画は伝える段階で



「旧統一教会関連団体」との関わりはなかったか



嶋田 信正
(日本共産党・文教厚生委員会)

問 「旧統一教会」の問題

は地方自治体との関わりも報道されている。奄美市及び旧名瀬市・笠利町・住用村時代も含めこのような事実や後援依頼はなかったか

答 記録の残る過去5年間を確認したが後援等の事実はない。合併前についても無かったものと認識している。公職者や著名人が名を連ねる場合は、しっかり申請段階から確認していきたい。また、後援等の基準を定め、宗教活動と認められるものは除いている。

問 住用町戸玉集落周辺の採石場問題について

答 平成26年5月22日に開発に対する同意書に押印し確認書が交わされており、遵守されることが基本である。変更が生ずる場合、業者は新たに集落からの同意を得ること

が必要と認識している。

問 地元住民が問題視している山間港（戸玉地区）の港湾施設管理について

答 岸壁や野積場の使用は申請・許可が必要で1社が年間のほとんどを利用している。制限はできないが適正な利用について指導・監督を行っていく。

問 来島者はレンタカーで全島の行動しており市全域対象の店舗リフォーム制度ができないか

答 奄美市創業支援事業や小規模事業者接続化補助金を活用した店舗リフォーム制度があり活用されている。周知・広報を行うとともに、国・県・関係機関と情報共有に努めたい。



観光振興について



和田 霜析
(自民党新政会・産業建設委員会)

問 アフターコロナでの観光振興について

答 クルーズ船の誘致や受入体制の充実化を図る取り組みや、訪日外国人観光客等への受入れ対策として、観光事業者等への受入体制整備助成事業や外国人向けのホームペーシによる観光情報の発信、通訳案内士との連携を図るなど、受け入れ環境の整備に努めている。金作原への観光利用が集中していることから分散化へ向け、役勝エコーロードのツアー構築に取り組んでいる。島内で実施する修学旅行を催行・誘致するための支援として、奄美大島5市町村が連携して実施している奄美満喫ツアー助成事業のメニューの一つに「学校研修旅行誘致助成事業」がある。

問 マングローブパークの今後について

答 世界自然遺産センター

が新たにでき、既存の施設と重複する部分も出てきたので、今後の施設のあり方、改修の必要性も意見されている。施設自体も平成13年に完成し、20年を経過しており、利用客は年々増加している。

施設自体の必要性はもとより、今後は世界自然遺産センターとの連携は非常に重要であり、指摘のあった連絡通路の問題も含め、今後のマングローブパークの大規模改修計画を検討している。

【その他の質問事項】

◎新型コロナウィルスについて

◎市政について

◎子育て環境整備について

◎教育行政について



▲ 住用町マングローブ

予定されていた避難訓練について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美・産業建設委員会)

問 コロナ禍の避難について

答 新型コロナウイルス感染者の避難は一般の方と別の避難所を案内する。訓練の中心については1月の津波避難の課題を受け、車での避難も二つの手段だと考えている。ペット避難については課題が多いが、飼い主の方々の声に耳を傾け、連携して取り組んでいきたい。

問 コーバーサルツーリズムの奄美市の窓口と情報発信について

答 鹿児島県バリアフリーツアーセンターがフランス・トップ窓口になっている。

問 社協や観光業との連携について

答 車いすの貸し出しについては、有料で貸し出し可能であり、観光客から問い合わせがあった際に案内している。



奄美の地場産航空便 貨物輸送について



伊東 隆吉
(自民党新政会・産業建設委員会)

問 奄美の地場産の農産物、海産物、養殖物等の航空貨物輸送実績を問う

答 航空便輸送については本市で把握できている実績は水産物の奄美群島農林水産物等輸送「スト支援事業に係るもの」のみで、農産物に関しての実績は把握していない。

問 地場産魚介類の航空貨物の受付不可が発生する場合がありますと聞くが実情を問う

答 搭乗客が多い場合や、航空会社と契約事業所等の貨物に関し搭載不可の場合があるとの事。本市として水産物に関する航空輸送について漁業協同組合や漁業業者から意見を聴取し必要に応じ関係機関と協議を図りたい。

問 おがみ山バイパストンネルの進捗について

答 トンネル本体の設計、



市民生活について



栄 ヤスエ
(公明党・総務企画委員会)

問 個別避難計画の避難行動要支援者名簿について

答 本年度は名瀬地区は大熊町内会と小湊町内会が地区防災計画策定に取り組んでいる。住用町は市自主防災会が笠利町は外金久自主防災会を避難計画に繋げていく。今後計画の策定に向けての説明会をケアマネージャーや民生委員などを対象に行う予定。

問 AEDの設置場所の情報提供について

答 本市及び消防組合のホームページでの情報提供を考えている。

問 女性に配慮したAED利用について

答 救急講習会では、タオル等を使いAED使用を説明している。本市の公共施設に設置のAEDに布やリフレット等の設置を検討する。

問 「コロナ・フォローアップセンター 鹿児島」開設について

答 自宅療養者の健康観察、相談対応、自宅療養解除の電話、生活物資等生活に関する相談、療養証明書の発行に関する相談等の業務を担う。

問 新型コロナウイルスワクチン接種率について

R4.8.31 時点の接種率

3回目	62.4%
4回目	14.4%
5～11歳の2回目	12.5%

問 本市の公共施設にマイボトルで給水できる無料給水機の設置について

答 ウォーターサーバーの設置も含めたマイボトルの推進など、島内でのペットボトル利用削減の取り組みを他町村、大島地区衛生組合と協議し積極的に取り組む。

ひかり議会・自衛隊奄美駐屯地3周年を経過して



奥 晃郎
(自民党新国会・文教厚生委員会)

問 開催日はいかにして決定されたのか

答 今年度のひかり会議は8月9日に開催された。開催日については、昨年度の12月から3月にかけて、今年度の年間行事予定を計画する中で決定している。今年度は、お盆時期や県及び地区の行事との兼ね合いもあり、8月9日の開催を決定し、年間行事計画に掲載している。今回、市長が出席できない日に開催した事に関して、大変申し訳なく思っている。今後、開催日を決定する際には、事前に関係部署と連携を図り、打合せを十分に行った上で決定したい。

問 陸上自衛隊が駐屯したことがもたらした経済効果

答 市民税については、令和4年度調定額として約6300万円、普通交付税についても、駐屯地開

大浜海岸公園を市民のオアシスへ



竹山 耕平
(自民党新国会・総務企画委員会)

問 リニューアルされた海洋展示館の現状は

答 「学び・遊び・体験」をコンセプトに、令和4年3月にリニューアルオープンを迎えた。4月から7月の入館者数の合計は1万4336人。過去最高の入館者数を記録した令和元年度と比較しても15%増・約2000人ほど上回った。

問 バースハウス（1階：トイレ・シャワー室・2階：カフェスペース）の活用状況と今後の計画は。また夏場のシャワー室開放時間延長と外付けシャワー器設置について

答 2階のカフェスペースは、これまでに2事業者が運営してきたが現在は休止している。今後の大浜のロケーションを活かした有効な活用について、指定管理者（株式会社木商行）と検討している。シャ

ワー室の夏休み期間の利用時間を午後7時まで延長しているが、今後利用者のニーズとあわせ検討する。外付けシャワー器具についても他の施設を参考に検討する。

問 小・中学校のタブレット端末の活用状況について（クラス毎・学校間の利用状況に差があると聞かれる）

答 各学校における教師の技能差はあるが、ほとんどの児童・生徒が支援なしで操作できており活用については概ね良好である。活用方法に関しては改善の余地があるためICT支援員の導入を検討し、苦手とする教員への支援も充実させる。

問 外来種であるアカギの保存樹指定を外す検討を会等で協議し検討したい。

答 奄美市環境保全審議会等で協議し検討したい。

市長の政治姿勢について



多田 義一
(自民党新国会・総務企画委員会)

問 医療機関はコロナ対応により大変な状況であり、一般患者受け入れが困難な現状と感ずるが奄美市警戒レベルの引き上げの判断を伺う

答 警戒レベルを引き上げる際は感染状況に加え、医療機関への現状確認、保健所の助言等を踏まえ検討している。警戒レベルの見直しを今年4月に行い、感染対策の徹底と社会経済活動の維持に向けて、という考え方に大きく見直された。その後感染者数が最多の200人となったことから急遽8月3日に奄美大島新型コロナウイルス感染症対策会議を開催し警戒レベルを引き上げた。

問 飲食業界の現状

答 観光客の増加もみられその効果も現れているが、感染状況を考慮した外食控え等により以前の状況までにはお客様は

戻っていないと感じており、経営状況は依然として厳しい現状と認識している。支援として第三者認証店舗プレミアム商品券事業、くらし応援ほーらしゃ券発行事業を、また、本市の事業者に対し、高騰した燃料費等の一部を支援するエネルギー価格高騰対策事業を新たに実行支援していく。

問 一般廃棄物収集運搬業務委託の物価高騰、人件費の上昇に対応できないのか

答 業務委託契約書に記載しており、委託料の額が著しく不相当であると認められる場合、協議して変更する事ができるとある。協議を行いながら適切に対応したい。



トンネル内コミュニティ ラジオの難聴解消について



奥 輝人
(無所属・産業建設委員会)

問 トンネル内の地域コミュニティラジオは難聴で聞く事ができない。設置基準はあるものの、設置可能性が高いと聞いている。今後の設置要望について予算の確保について

答 コミュニティFMは地域の情報発信、災害時の状況をリアルタイムで伝えることができる重要なメディアである。予算の確保を含め、庁内の関係部署と協議を行い、県・県への要望として検討する。

問 奄美・沖縄直行使が連休となり、離島経由便で沖縄着となっている。週2便又は3便体制の直行便の運航要請について

答 1の路線は長引くコロナ禍の影響により航空需要の大幅な減少が続ぎ、経営に大きな影響を及ぼしている。まずは、奄美・

沖縄の交流人口の拡大にも注視していく。

問 農水産物の物価高騰対策について。

答 肥料価格は、国・県の支援策で支援金を交付する。飼料価格は配合飼料安定基金制度で県において補助を行っている。本市でもコスト上昇分の支援を考えている。漁業者への支援は今年度から漁業経営安定支援事業を実施。また、県において漁業用燃油価格高騰等緊急対策事業を実施。農水産業の負担軽減と経営安定化を図っていく。



市長の政治姿勢について



与 勝広
(公明党・文教厚生委員会)

問 マリントウン地区整備事業、中心市街地活性化基本計画事業(末広・港土地区画整理事業)完了後の奄美市の将来構想をどのように描いているのか

答 マリントウン整備事業及び末広・港土地区画整理事業においては、市街地へのアクセス改善により利便性の向上、防災機能の強化を目的に長期的な事業として取り組んできた。マリントウン事業については平成30年に埋立て事業が完了し、既に一部事業者による営業開始。新たな施設の建設が進むなど、新しいまちが形成されていく様子を皆様に見守っていただいている。また、末広・港土地区画整理事業においては、これまで地権者の皆様のご理解を頂きながら、着実な事業の推進に努め、末

広地区における路線の供用開始など、中心市街地の防災力強化が実現されている。加えて、本庁舎や市民交流センターの整備により、中心市街地における都市機能の集約・強化が図られてきている。このような状況を踏まえ、本市の将来構想については、県が事業を推進しているおがみ山バイパス事業の完了後には市内の人・交通の流れにも大きな変化がもたらされると予想している。



新型コロナウイルスの状況 。開発公社について



関 誠之
(立憲民主党・文教厚生委員会)

問 新型コロナウイルス感染症の現況について

答 累積感染者数は8月末で1万231名、10代以下が22・2%、40代以上が56・5%、70代以上が18・9%と高齢者の割合が増えている。

問 児童への個別接種、集団接種の状況は

答 5歳から11歳の小児接種に対応できる医療機関は4機関、12歳以上の追加ワクチン接種に対応できる医療機関は9機関。8月31日現在の5歳から11歳の小児接種率は12・5%、12歳から19歳までの3回目接種は31・9%である。

問 市開発公社から無償譲渡された土地の売買状況は

答 売買収入総額14億9189万9483円、売却収入見込み5億784万2440円、今後の売

却収入見込み1億1067万5053円の合計31億1041万6976円である。歳出は代位弁済の18億773万円と今後弁済予定の6億円の合計24億773万円で、剰余金は24億773万円を見込み、公共施設整備事業基金に積立てる予定である。

問 小中学校給食費滞納金について

答 未収金総額は626万4829円で名瀬住用地区542万5271円、笠利地区83万9558円である。滞納金は税務課滞納整理係と協力し徴収する。

【その他の質問事項】

◎行政協力員の活動実態
◎副市長の行政執行における課題



第3回定例会 常任委員会

審査概要

9月13日 文教厚生委員会
9月14日 産業建設委員会
9月15日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和4年度奄美市一般会計補正予算
(第5号)

問 奄美市斎場の現況について

答 □口ナ禍の密を避けるため、3炉中2炉を稼働させ、1日6件の荼毘を行っているが、□口ナ警戒レベルが4に引き下げられれば3炉稼働させることができる。

問 学校給食運営費(有価資源物収集運搬及びリサイクル業務委託27万5000円)について

答 昨年末まで業者が廃油を無償で引き取っていたが、廃油に添加する薬剤の高騰等により無償での引き取りができなくなったための予算措置。

令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)

問 オンラインシステム導入業務42万9000円について

答 マイナンバーカードの資格確認システムを昨年笠利診療所は導入済みだが、住用診療所は半導体電子部品の不足により導入できず今回補正での対応となった。

奄美市相撲練習道場条例の一部を改正する条例について

問 今後の施設管理方針と使用料の設定根拠について

答 これまで使用料が設定されておらず相撲連盟と建物管理委託契約により光熱水費や軽微な修繕について相撲連盟負担としていた。今回使用料収入を財源として施設の管理を引き続き相撲連盟に委託しようとするもの。

産業建設委員会

肥料・飼料高騰対策補助金
2036万5000円

問 肥料価格高騰対策支援金の申請方法は。

答 農協で購入する農家の分については農協で取りまとめ県・市に申請を行い、農協以外で購入する農家は市に申請していただき、市で取りまとめ県に申請を行う流れを想定している。

エネルギー価格高騰対策支援金

1億4000万円

【当局からの説明】

原油価格や物価高騰の影響を受ける事業者に対して、ガソリン代や電気、ガス料金等の負担を軽減するため、法人は10万円、個人は5万円を上限に支援金を支給し、市内事業者の事業継続を支援するもの。

末広・港土地区画整理事業

47万2000円増額

問 末広・港線が開通していない箇所はどこか。

答 朝日通りから港町側が現在工事中であり、令和5年度の全線供用開始を目指して整備を実施している。

住宅リフォーム等助成金

400万円増額

【当局からの説明】

今年度前期の申請状況や問合せ状況などから当初予算額では不足が生じる恐れがあることから、住宅リフォームを検討している方々への負担軽減や、地域経済の活性化を図るため予算の増額を行うもの。

総務企画委員会

令和4年度 奄美市一般会計補正予算
(第5号)

問 指定避難所改修事業について。

答 当初予定していた浦上町集会場、和野生活館の増額分と新たに鳩浜町集会場の屋上防水等の改修費用を計上するもの。平成30年度の調査をもとに令和5年度までに26施設の改修を計画しており、既に17施設の工事を完了。令和5年度には令和6年度以降の改修計画を立ていく。

問 マイナポイント特別窓口について。

答 一人当たり30分位かかるため、事前予約制とし、自分で入力するのを職員が支援する体制としている。令和5年2月まで窓口を設置予定。

議案第72号 土地の処分について

問 今回の処分の経緯等について。

答 特別養護老人ホームの敷地である市有地について賃借人から購入要望があり、地域貢献性等を考慮し随意契約によることとした。価格は路線価や近隣地の鑑定をもとに算出。

安倍元首相の「国葬」に反対を求める陳情

▼不採択とすべきもの

【議員からの主な意見】

・国葬を決定した意義などを丁寧に国民に説明している最中と認識している。
・世界各国の多くの要人も葬儀に出席するという点で外交に力を入れた功績と考えると国を挙げて行うのは当然と考える。
・岸田首相が示した国葬実施の4点の理由(首相在任期間、震災復興・経済再生・外交等の実績、各国からの敬意と弔意、暴力に屈しないという姿勢)について、評価できる。

第3回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	出資法人の経営状況を説明する書類		
議案 第62号	令和4年度奄美市一般会計補正予算（第5号）について	原案 可決	全委員会
議案 第63号	令和4年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第64号	令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第65号	令和4年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第66号	令和4年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第67号	令和4年度奄美市と畜場特別会計補正予算（第1号）	原案 可決	文教厚生
議案 第68号	令和4年度奄美市水道事業会計補正予算（第1号）について	原案 可決	産業建設
議案 第69号	令和4年度奄美市下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案 可決	産業建設
議案 第70号	奄美市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	総務企画
議案 第71号	奄美市相撲練習道場条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第72号	土地の処分について	原案 可決	総務企画
議案 第73号	令和4年度奄美市一般会計補正予算（第6号）について	原案 可決	産業建設
議案 第74号	令和3年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	一般会計
議案 第75号	令和3年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第76号	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第77号	令和3年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第78号	令和3年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第79号	令和3年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第80号	令和3年度と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第81号	令和3年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第82号	令和3年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	継続 審査	特別会計
議案 第83号	令和3年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	継続 審査	特別会計
発議 第7号	奄美群島振興開発特別措置法に関する提言書の関係先への提出について	原案 可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第4号	川内原発の20年延長運転期間に関する陳情	川内原発の20年延長を止める会奄美地区支部 提出代表者 城村 典文	不採択	産業建設
陳情 第5号	安倍元首相の「国葬」に反対を求める陳情	奄美地区退職教職員連絡協議会 会長 勇 寛和	不採択	総務企画

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第3号	政府に対して「インボイス制度実施延期を求める意見書」の提出を求める陳情	奄美民主商工会 会長 濱田 幸造	継続審査	産業建設

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																【○賛成数】	【●反対数】					
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	松山さおり	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤス工	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	元野景一	関誠之	崎田信正	与勝広			西公郎	奥輝人	伊東隆吉	川口幸義	多田義一
川内原発の20年延長運転期間に関する陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	●	-	●	●	●	●	2	17
安倍元首相の「国葬」に反対を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	●	-	●	●	●	●	2	17

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

第3回臨時会の議案

令和4年8月17日に第3回臨時会を行いました。

	件名	議決結果	付託委員会
議案 第59号	令和4年度奄美市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	本会議
議案 第60号	工事請負契約の締結について	原案可決	本会議
議案 第61号	工事請負契約の締結について	原案可決	本会議

奄美市中学生ひかり議会



令和4年8月9日、ひかり議会が行われ市内の中学生18名が参加しました。環境問題やタブレット端末の活用などに、奄美市のさまざまな課題について質問しました。また、金久中・大川中・笠利中による実践事例発表も行われました。

奄美市議会議員研修会

奄美市議会では毎年議員研修会を行っており、議員の資質の向上に努めています。

令和4年度は9月12日に市役所第一委員会室にて開催しました。講師には大島支庁長 新川 康枝氏をお招きし、「奄美群島振興開発特別措置法の延長に向けて」というテーマで講話いただきました。



議員の辞職について

荒田幸司議員（日本共産党）が令和4年9月13日にご逝去されました。荒田議員におかれましては、令和元年11月に市議会議員に初当選され、市政発展のためにご尽力いただきました。謹んでお悔み申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

常任委員会の所管事務調査

市議会には3つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に審議しています。各委員会では全国の先進事例を参考にするため、1年に1回、現地を訪問し調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り許可しております。5、7月に調査を行いましたので報告いたします。

文教厚生委員会

◎日程

5/17～5/20

◎調査場所

【和歌山県橋本市】

- ・学校法人きのくに子どもの村学園
学園の概要、取り組みについて

【愛知県岡崎市】

- ・岡崎市子ども発達センター
子ども発達センターの運営、取り組みについて



▲ 奥議員、幸多議員、林山議員、橋口議員、嶋田議員、与議員、関議員

総務企画委員会

◎日程

7/14～7/16

◎調査場所

【東京都】

- ・国土交通省国土政策局
奄美群島振興開発特別措置法の延長に向けて
- ・池袋防災館
防災体験施設の状況について
- ・東京消防庁池袋消防署
東京消防庁の概要と各種消防設備について



▲ 弓削議員、川口議員、竹山議員、栄議員、西議員、多田議員

産業建設委員会

◎日程

7/19～7/22

◎調査場所と調査事項

【沖縄県石垣市】

- ・竹富町役場（所在地：石垣市）
西表島などにおける観光管理体制について
- ・石垣市役所
クルーズ船等による観光需要過多への対応

【沖縄県那覇市】

- ・沖縄県庁 改正沖縄振興特別措置法について
- ・独立行政法人農畜産業振興機構
沖縄県におけるさとうきび生産の取組
- ・道の駅のぞ
道の駅における交流、物販等の取組について



▲ 正野議員、伊東議員、永田議員、和田議員、大迫議員、松山議員

議会の動き

【8月】

- 5日 議会だより編集委員会
- 9日 奄美市中学生ひかり議会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 臨時会・全員協議会
奄振延長・提言特別委員会
- 25日 招集告示
- 26日 一般質問通告
- 29日 議会運営委員会

【9月】

- 5日 第3回定例会開会
全員協議会
奄振延長・提言特別委員会
- 6日 一般質問（～9日）
- 12日 本会議・全員協議会
議員研修会
- 13日 文教厚生委員会
- 14日 産業建設委員会
- 15日 総務企画委員会
- 20日 食肉加工センター起工式
- 21日 奄振延長・提言特別委員会
- 26日 最終本会議

【10月】

- 4日 決算委員会（～7日）
- 9日 関西名瀬連合会第70回記念総会並びに敬老会
- 16日 笠利地区第117回招魂祭式典
- 17日 奄振延長・提言特別委員会
- 19日 全国市議会議長会研究フォーラム（～20日）
- 30日 奄美パーク開園20周年記念式典
近畿笠利会第62回総会並びに敬老会

第4回定例会の予定

令和4年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		開会	一般質問			
11	12	13	14	15	16	17
	一般質問	本会議	委員会			
18	19	20	21	22	23	24
					最終本会議	
25	26	27	28	29	30	31

年賀状などのあいさつ状の禁止について

政治家は「公職選挙法第147条の2」によりその選挙区内にある者に対して年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議会だより編集委員会よりお知らせ

荒田委員長のご逝去に伴い、委員長・副委員長が下記のとおりとなりました。

委員長：和田 霜析
副委員長：林山 克巳

編集あとがき

「道」の島 心を繋ぐ 波の音」

【林山 克巳】

まず始めに市議会だより編集委員長の荒田幸司議員が逝去されたことに、哀悼の意を捧げ、市政に対して最期までご尽力頂いたことに、心から感謝申し上げます。

「機を活かす」機とは漢方でつぼとか勘所（かんどころ）というもので、そこを外すと物事が活きて活かないという点を意味している。生活にこの機を捉えることが、生の飛躍に繋がると言われている。

2020年1月16日に国内第一例目のコロナ感染者を確認してから早や3年が経過しようとしていた。その間、国・県・市も様々な対策支援事業を実施し、国民一体となりこの難局を乗り越えてきた。まだ充分ではないが、市民の顔にも明るい兆しが見え始め、島全体に活力を取り戻す光景が広がっている。

奄美群島復興70周年記念事業やかごしま国体（奄美市・相撲競技大会）が控えている。響きのように島全体が動き出し、長く暗かった地元の来年から明るい出口に支え、うさぎのように飛び跳ねるスタートを意味する。うさぎのようになり、市民と共に実現できるように取り組んでいく。

市議会だより 編集委員会

【委員長】 和田 霜析

【副委員長】 林山 克巳

【委員】 幸多 拓磨
関 誠之
崎田 信正
与田 勝広
多田 義一